

技術の名称

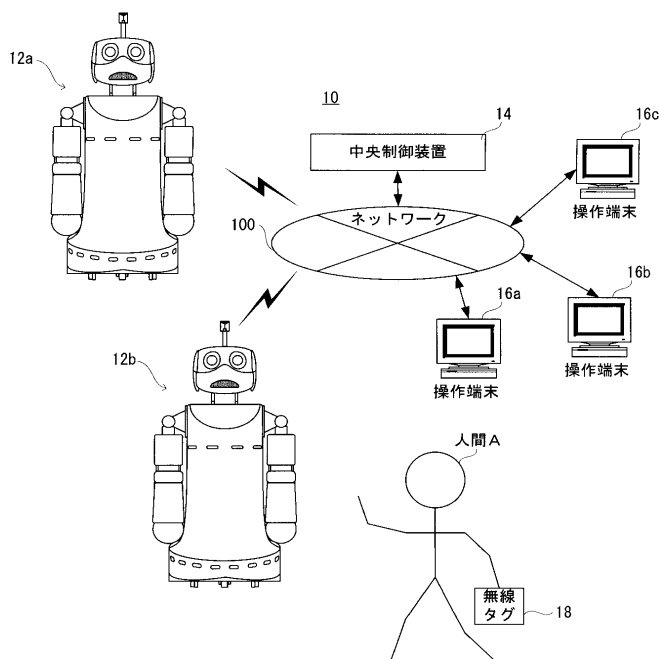
遠隔操作ロボット

適用分野

コミュニケーションロボット、接客ロボット

- 目的 言語や文化が違う相手とでもコミュニケーションが図れるロボットを提供する。
- 効果 本発明によれば、ロボットとコミュニケーションしようとするユーザがロボットを遠隔操作するオペレータが理解できない言語で話し掛けてきてもオペレータが理解できる言語に翻訳してオペレータに伝え、またオペレータの対応言語をユーザが理解できる言語に翻訳して伝えるので、言語や文化の違いを乗り越えてのコミュニケーションが可能となる。
- 技術概要 ロボット12とコミュニケーションしようとするユーザAが話し掛けてきた言語を、ロボット12を遠隔制御する操作端末16のオペレータが理解できなかった場合、CPU14がその言語をオペレータが理解できる言語に翻訳してからオペレータに伝え、またオペレータが発した応答の言葉をユーザAが理解できる言語に翻訳して伝える。

- 特記事項,図など



- 主たる提供特許 特許等の名称 : ロボット遠隔操作システム
登録番号
出願番号 : 特願2008-087610
公開番号 :
出願日 : 平成20年 3月28日
- 実施実績 有、○無
- 提供形態 ○実施許諾、×権利譲渡

お問合せ先

株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp